

調査票 (調査事項のみ収録)

貯蓄に関する世論調査 (平成3年)

問1 お宅の家計では、④この1年間に手取り収入(税引き後)の何%(%未満は四捨五入)ぐら^(注)いを貯蓄しましたか。また、⑤年間手取り収入のうちボーナスや臨時収入(税引き後)からは何%(%未満は四捨五入)ぐら^(注)いを貯蓄しましたか(営業や農・林・漁業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的にしかとどまらないような預貯金は含めないでお答えください。以下の質問についても同様です)。該当する番号に○印をつけてお答えください。

(注) この調査でいう貯蓄とは金融資産(問3に記載の貯蓄商品)であり、土地・住宅等の実物資産は含みません。

(記入例)

例えば、年間手取り収入100万円のうち

・5万円を貯蓄した場合 →

	5
--	---

 %

・12万5千円を貯蓄した場合 →

1		3
---	--	---

 %

とご記入ください。

④

--	--

 年間手取り収入の

--	--

 %ぐら^(注)いを貯蓄した。
 2 年間手取り収入から貯蓄を全くしなかった。

⑤

--	--

 ボーナスや臨時収入の

--	--

 %ぐら^(注)いを貯蓄した。
 2 ボーナスや臨時収入から貯蓄を全くしなかった。
 3 ボーナスや臨時収入がなかった。

問2 お宅の家計の現在の貯蓄保有状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

1 貯蓄を保有している。 →

--

--

 続けて問3の④、⑤にお答えください。

2 貯蓄を保有していない。 →

--

 続けて問3の⑥にお答えください。

問3 お宅の家計では、④現在の貯蓄商品別残高(手持ち現金を除く)およびその合計額はどのくらいですか。また、⑥今後貯蓄を増やしていく場合に、どのような貯蓄商品にどのくらいの割合(貯蓄全体の増加額に対する割合)で貯蓄しますか。それぞれについて下表の②、③欄に数値をご記入ください。

貯蓄商品		㊚現在の貯蓄残高					㊛今後貯蓄を増やしていく場合の商品別構成比	
		億	千万	百万	十万	万円		%
1	預貯金（郵便貯金は除く）							
	うち定期性預貯金（定期預金、定期積金、小口MMC、CD等）							
	うち大口定期預金							
2	郵便貯金							
	うち定期性貯金（定額貯金、定期貯金、積立貯金、小口MMC）							
3	金銭信託・貸付信託（ビッグを含む）							
4	生命保険・簡易保険 （これまでに払い込んだ保険料の総額。 ただし、掛け捨ての保険は除く。）							
	うち一時払養老保険							
5	損害保険 （これまでに払い込んだ保険料の総額。 ただし、掛け捨ての保険は除く。）							
6	郵便年金・個人年金信託・年金保険 （これまでに積み立てた掛け金の総額。 厚生年金、国民年金、公務員共済など 公的年金の掛け金は除く。）							
	うち一時払養老保険							
7	債券（国債、地方債、金融債〈ワイドを含む〉、社債〈転換社債を含む〉等） （時価〈現在の相場〉でお答えください。 ご不明なら額面でお答えください。）							
	株式（従業員持株制度による株式を含む） （時価〈現在の相場〉でお答えください。）							
9	投資信託（株式投信、公社債投信、中国ファンド等） （時価〈現在の相場〉でお答えください。 ご不明なら額面でお答えください。）							
10	財形貯蓄 （一般財形、財形年金、財形住宅の合計額）							
11	その他金融商品 （国債組合わせ商品、抵当証券、金貯蓄） 口座、金投資口座等							
	うち金貯蓄口座、金投資口座							
合計（1～11の総計）							100	%

問4 お宅では、貯蓄する商品を決める場合にどのような理由から選びますか。次のうち最も重点を置いているものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 利回りがよく得だから。
- 2 将来の値上がりが期待できるから。
- 3 元本が保証されているから。
- 4 取扱い金融機関が信用できて安心だから。
- 5 現金に換えやすいから。
- 6 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。
- 7 その他

問5 お宅の家計では、㊚現在の貯蓄残高についてどのような評価をされていますか。また、㊛その評価のもとで今後の貯蓄方針についてどのようにお考えですか。次のうちそれぞれ該当する番号に○印をつけてください。

- ㊚
- | | | | |
|---|---------|-----|---------------|
| 1 | 十分である。 | →㊛1 | 貯蓄残高を増やす。 |
| | | →㊛2 | 現在の貯蓄残高を維持する。 |
| 2 | 不十分である。 | →㊛1 | 貯蓄残高を増やす。 |
| | | →㊛2 | 現在の貯蓄残高を維持する。 |
| | | →㊛3 | 貯蓄残高を減らす。 |

問6 お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|---|----------------|
| 1 非常に増えた。 | → | 続けて問7にお答えください。 |
| 2 若干増えた。 | | |
| 3 変わらない。 | → | 続けて問8にお答えください。 |
| 4 若干減った。 | | |
| 5 非常に減った。 | | |

問7 問6で、「1非常に増えた」、「2若干増えた」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 勤労所得が増加したから。
- 2 勤労所得から貯蓄する割合を上げたから。
- 3 配当や金利収入があったから。
- 4 土地・住宅等の実物資産の売却による収入があったから。
- 5 相続、退職金等による臨時収入があったから。
- 6 株式、債券価格の上昇によりこれらの評価額が増加したから。
- 7 その他

問8 問6で、「4若干減った」、「5非常に減った」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 手取り収入が減ったので貯蓄を取崩したから。
- 2 土地・住宅購入費用の支出があったから。
- 3 耐久消費財（自動車、家具、家電等）購入費用の支出があったから。
- 4 こどもの教育費用・結婚費用の支出があったから。
- 5 旅行、レジャー費用の支出があったから。
- 6 株式、債券価格の低下によりこれらの評価額が減少したから。
- 7 その他

問8 お宅では、どのような目的で貯蓄をしていますか。次のうちから3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 病気や不時の災害のときに備えるため。
- 2 こどもの教育資金にあてるため。
- 3 こどもの結婚資金にあてるため。
- 4 住宅（土地を含む）の取得または増改築などの資金にあてるため。
- 5 老後の生活資金にあてるため。
- 6 耐久消費財（自動車、家具、家電等）の購入資金にあてるため。
- 7 旅行、レジャーの資金にあてるため。
- 8 納税資金にあてるため。
- 9 とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。
- 10 その他

問10 お宅では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標にし、その達成時期を何年後と考えていますか。それぞれ下表に数値をご記入ください。

億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高				
貯蓄目標達成予定時期				年後

問11 株式を現在保有しているお宅および株式を現在は保有していないが今後保有したいと考えているお宅（問3の株式欄にご記入されたお宅）にお尋ねします。

お宅では、㊚今後株式投資を行なう場合、その投資方針は次の2つのうちどちらですか。それぞれ下表の該当する番号に○印をつけてください。なお、株式を現在保有しているお宅については、これまでの投資方針も併せてご回答ください。

	1 長期的な保有・投資	2 短期的な保有・投資
株式を現在保有しているお宅	1	2
株式を今後保有したいと考えているお宅（株式を現在保有しているお宅は除く）	1	2
株式を現在保有しているお宅のこれまでの投資方針	1	2

また、㊛今後株式に新たに資金を投資したいと考えているお宅（株式を現在保有しており、今後も株式投資を行いたいと考えているお宅も含みます）にお尋ねしますが、投資資金としては主に何を充当しますか。次のうち最も金額の大きいものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。

- ㊛
- 1 保有株式の売却代金
 - 2 株式を除く金融資産
 - 3 手取り収入（ボーナスを含む）
 - 4 土地・住宅等の実物資産の売却代金
 - 5 その他
 - 6 新たに資金は投資しない

問12 お宅で過去1年間に購入された実物資産のうち、④次に挙げるものがあれば、該当する番号に○印をつけ、併せて、おおよその購入金額もご記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

④	1 土地	→					
	2 建物	→					
	3 美術品・貴金属	→					
	4 購入したものはない						

次に、⑤このうち、将来のある時点で換金するおつもりで購入したものがあれば、該当する番号に○印をつけてください。

⑤	1 土地	
	2 建物	
	3 美術品・貴金属	
	4 換金するつもりで購入したものはない	

問13 お宅の家計の小口MMCの預入状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 小口MMCに預入している。→
 続けて問14にお答えください。
- 2 小口MMCに預入していない。→
 続けて問15にお答えください。

問14 小口MMCに現在預入しているお宅にお尋ねします。

お宅では、②どのような理由から小口MMCに預入しましたか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけ、併せて、①小口MMCの残高(平成3年3月末時点および現在)もご記入ください。

- ①
- 他の金融商品に比べ収益性が高いから。
 - 金利が市場連動型であり、自らの金利の見通しに応じた弾力的な資金運用ができるから。
 - 預入期間が3か月、6か月、1年、2年、3年と選択の幅が広いから。
 - 最低預入金額が本年4月に50万円に引き下げられ、これまでより身近な貯蓄対象となったから。
 - 元本が保証されているから。
 - 金融機関(郵便局を含む)に勧められたから。
 - その他

億 千万 百万 十万 万円

①	小口MMC残高	平成3年3月末					
		現在					

また、③小口MMCへの預入資金としては主に何を充当しましたか。次のうち最も金額の大きいものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。

- ③
- 他の預貯金に運用していた資金
 - 預貯金以外の金融資産に運用していた資金
 - 手取り収入(ボーナスを含む)
 - その他

一方、④平成3年4月1日以降現在までの間に小口MMCを一部解約したお宅にお尋ねしますが、どのような理由から解約しましたか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- ④
- 他により収益性が高いとみられる金融商品があるから。
 - 市場金利を見通して資金を運用するのがわずらわしいから。
 - その他

問15 小口MMCに現在預入していないお宅にお尋ねします。

お宅では、どのような理由から小口MMCに預入しないのでしょうか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 最低預入金額が50万円では大きすぎるから。
- 他により収益性が高いとみられる金融商品があるから。
- 市場金利を見通して資金を運用するのがわずらわしいから。
- 預入期間が3か月、6か月、1年、2年、3年に限られ選択の幅が狭いから。
- 小口MMCの商品内容がよくわからないから。
- その他

問16 本年秋から自由金利定期預金(いわゆる大口定期預金)の最低預入金額が1000万円から300万円に引下げられるとの方針が明らかにされていますが、仮に最低預入金額が300万円となった場合、お宅では、自由金利定期預金に預入するおつもりがありますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 自由金利定期預金に預入する予定である。→
 続けて問17にお答えください。
- 自由金利定期預金に預入する予定はない。→
 続けて問18にお答えください。

問17 自由金利定期預金に預入するご予定であるお宅にお尋ねします。お宅では、②どのような理由から自由金利定期預金に預入するおつもりですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- ②
- 他の金融商品に比べ収益性が高いから。
 - 金融機関との交渉次第で店頭表示金利を上回る利率を確保できるとみられるから。
 - 自らの金利の見通しに応じた弾力的な資金運用ができるから。
 - 預入期間が1か月から2年と選択の幅が広いから。
 - 最低預入金額が300万円に引下げられれば、これまでより身近な貯蓄対象となるから。
 - 元本が保証されているから。
 - 金融機関に勧められているから。
 - その他

また、⑥自由金利定期預金に預入するとすれば、預入資金としては主に何を充当するおつもりですか。次のうち最も金額の大きいものを1つを選び、該当する番号に○印をつけてください。

- ⑥
- 他の預貯金(郵便貯金は除く)に運用していた資金
 - 郵便貯金に運用していた資金
 - 金銭信託、貸付信託に運用していた資金
 - 保険に運用していた資金
 - 債券に運用していた資金
 - 株式に運用していた資金
 - 土地・住宅等の実物資産の売却代金
 - その他

問18 自由金利定期預金に預入するご予定のないお宅にお尋ねします。

お宅では、どのような理由から自由金利定期預金に預入するおつもりがないのでしょうか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 最低預入金額が300万円に引下げられたとしても、なお金額が大きすぎるから。
- 他により収益性が高いとみられる金融商品があるから。
- 市場金利を見通して資金を運用するのがわずらわしいから。
- 預入期間が1か月から2年に限られ選択の幅が狭いから。
- 自由金利定期預金の商品内容がよくわからないから。
- その他

問18 近い将来、仮に以下のような変化が生じた場合、お宅の家計では、手取り収入から貯蓄する割合をこれまでと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。それぞれについて下表の該当する欄に○印をつけてください。

	増やす	変えない	減らす
・手取り収入が増加した場合			
・物価が上昇した場合			
・金利が上昇した場合			
・土地、住宅の価格が上昇した場合 (土地、住宅の購入計画があるお宅のみご記入ください。)			
・お宅が所有している土地、住宅の価格が上昇した場合 (土地、住宅を所有しているお宅のみご記入ください。)			

問20 お宅では、次に挙げる金融機関のうちどちらを利用していますか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。また、そのうちお宅の金融資産残高が最も大きい金融機関に◎印をつけてください。

- 郵便局
- 都市銀行
- 長期信用銀行
- 信託銀行
- 地方銀行
- 第二地方銀行協会加盟行
- 信用金庫、信用組合
- 農業協同組合、漁業協同組合、労働金庫
- 証券会社
- 生命保険会社、損害保険会社
- 外国銀行、外国証券会社
- その他

問21 お宅では、今後金融機関に対してどのようなサービスを期待しますか。次のうちから銀行、証券会社、保険会社別に該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 預金(決済性サービスを含む)、保険、証券にかかわる新型商品の開発
- 個人ローンの充実
- 総合的な資金管理面でのアドバイスの充実
- 金融や税金など暮らしに密着した情報の提供
- ホームバンキングやホームトレードのサービス充実
- その他

銀行	1	2	3	4	5	6
証券会社	1	2	3	4	5	6
保険会社	1	2	3	4	5	6

問22 お宅の家計(家族全体)の過去1年間の収入・支出それぞれについて、下表の該当する欄に次頁の記入例を参考にしながら金額をご記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

⊕ 年間手取り収入(税引き後)	②					
⊕ 新規借入金額	⑥					
⊕ 貯蓄金取崩し額	③					
⊖ 年間貯蓄額	④					
⊖ 年間借入金返済額	⑤					
うち 住宅ローン返済額						
⊖ 土地・住宅購入費用	①					
⊖ 消費支出(⑧+⑨+⑩-④-⑤-①)						
うち 自動車購入費用						
ゴルフ・リゾート会員権購入費用						
国内旅行費用						
海外旅行費用						

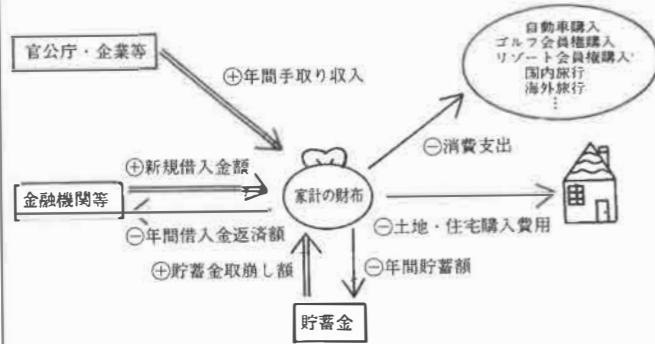
(記入例)

例えば、年間手取り収入(税引き後)500万円、年間貯蓄額100万円、年間借入金返済額20万円(家電製品購入分)の家計(ただし、土地・住宅は未取得)が、200万円の自動車を購入(頭金50万円は貯蓄を取崩して充当、残り150万円については借入金で対応)し、国内旅行(15万円)をした場合には、「収入・支出表」に次のようにご記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

⊕ 年間手取り収入(税引き後)	Ⓐ		5	0	0
⊕ 新規借入金額	Ⓔ		1	5	0
⊕ 貯蓄金取崩し額	Ⓒ			5	0
⊖ 年間貯蓄額	Ⓓ		1	0	0
⊖ 年間借入金返済額	Ⓕ			2	0
うち 住宅ローン返済額					0
⊖ 土地・住宅購入費用	Ⓗ				0
⊖ 消費支出(Ⓐ+Ⓔ+Ⓒ-Ⓓ-Ⓕ-Ⓗ)			5	8	0
うち 自動車購入費用			2	0	0
ゴルフ・リゾート会員権購入費用					0
国内旅行費用				1	5
海外旅行費用					0

(参考)



問23 お宅では、過去1年間の消費支出を前年と比べて増やしましたか、あるいは減らしましたか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 消費支出を増やした。→
- 消費支出を変えていない。
- 消費支出を減らした。→

続けて問24にお答えください。

続けて問25にお答えください。

問24 問23で、「1消費支出を増やした」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

お宅では、Ⓐどのような項目の消費支出を増やしましたか。次に挙げる項目から3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 食料費
- 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅購入費は除く)
- 被服費(身の回り品を含む)
- 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 教育費
- 保健・医療費(美容関係を含む)
- 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

また、Ⓔどのような理由からその項目の消費支出を増やしたのでしょうか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 年間手取り収入(ボーナスを含む)が増加したから。
- 株式、債券等の金融資産の評価額が増加したから。
- 土地・住宅等の実物資産の評価額が増加したから。
- 預貯金等の金融資産残高が増えてきたから。
- 年間手取り収入から貯蓄に回す額を減らしたため。
- ローンの返済完了など借入金返済額が減少したため。
- 物価上昇に伴い名目支出額が増加したから。
- 高額の消費支出(自動車購入費等)に見合う借入金等の資産調達が可能となったから。
- その他

問25 問23で、「3消費支出を減らした」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

お宅では、Ⓒどのような項目の消費支出を減らしましたか。次に挙げる項目から3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 食料費
- 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅購入費は除く)
- 被服費(身の回り品を含む)
- 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 教育費
- 保健・医療費(美容関係を含む)
- 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

また、Ⓔどのような理由からその項目の消費支出を減らしたのでしょうか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 年間手取り収入(ボーナスを含む)が減少したから。
- 株式、債券等の金融資産の評価額が減少したから。
- 土地・住宅等の実物資産の評価額が減少したから。
- 年間手取り収入から貯蓄に回す額を増やしたため。
- ローンの返済開始など借入金返済額が増加したため。
- 物価下落に伴い名目支出額が減少したから。
- 過去1年間は、その前年に発生した高額の消費支出(自動車購入費等)が発生しなかったから。
- その他

問26 お宅では、今後1年間の消費支出を過去1年間のそれと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 消費支出を増やす。→
- 消費支出を変えない。
- 消費支出を減らす。→

続けて問27にお答えください。

続けて問28にお答えください。

問27 問26で、「1消費支出を増やす」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

お宅では、Ⓐどのような項目の消費支出を増やしますか。次に挙げる項目から3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 食料費
- 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅購入費は除く)
- 被服費(身の回り品を含む)
- 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 教育費
- 保健・医療費(美容関係を含む)
- 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

また、Ⓔどのような理由からその項目の消費支出を増やすおつもりですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 年間手取り収入(ボーナスを含む)の増加が見込まれるから。
- 株式、債券等の金融資産の評価額の増加が見込まれるから。
- 土地・住宅等の実物資産の評価額の増加が見込まれるから。
- 預貯金等の金融資産残高が増えてきているから。
- 年間手取り収入から貯蓄に回す額を減らすため。
- ローンの返済完了など借入金返済額が減少するため。
- 物価上昇に伴い名目支出額の増加が見込まれるから。
- 高額の消費支出(自動車購入費等)に見合う借入金等の資産調達の目処が立つ見通しにあるから。
- その他

問28 問26で、「3消費支出を減らす」に○印をつけたお宅にお尋ねします。

お宅では、Ⓒどのような項目の消費支出を減らしますか。次に挙げる項目から3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 食料費
- 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅購入費は除く)
- 被服費(身の回り品を含む)
- 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 教育費
- 保健・医療費(美容関係を含む)
- 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

また、Ⓔどのような理由からその項目の消費支出を減らすおつもりですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 年間手取り収入(ボーナスを含む)の減少が見込まれるから。
- 株式、債券等の金融資産の評価額の減少が見込まれるから。
- 土地・住宅等の実物資産の評価額の減少が見込まれるから。
- 年間手取り収入から貯蓄に回す額を増やすため。
- ローンの返済開始など借入金返済額が増加するため。
- 物価下落に伴い名目支出額の減少が見込まれるから。
- 今後1年間は、前年に発生した高額の消費支出(自動車購入費等)が発生しない見通しにあるから。
- その他

問29 お宅では、④過去1年間の消費支出の中で何を重視しましたか。また、⑤今後は何を重視していきたいとお考えですか。次のうちから3つ選び、それぞれ下表の該当する番号に○印をつけてください。

- 健康・美容の維持（スポーツ、人間ドック、フィットネスセンター、エステティックなど）
- 教養・文化生活の充実（美術展、コンサート、演劇、映画、ビデオ、カルチャーセンターなど）
- 国内旅行（ドライブも含む）
- 海外旅行
- 高級アクセサリ等身の回り品の購入
- グルメ
- こどもの教育の充実（塾、家庭教師など）
- 居住環境の改善（住宅リフォーム、家具購入など）
- 自動車、家電製品等耐久消費財の購入
- ゴルフ・リゾート会員権の購入

④過去1年間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑤今後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問30 お宅では、物品を購入したり、サービスを受取る際に何を重視しているかについて、以下の3つの観点からお尋ねしますので、それぞれ該当する番号に○印をつけてください。

（物品購入とサービス享受）

- 物品の購入よりもどちらかと言えばレジャー、健康、教養などのサービスの享受を重視している。
 - レジャー、健康、教養などのサービスの享受よりもどちらかと言えば物品の購入を重視している。
- （物品購入およびサービス享受の際の量と質）

- 物品を購入したり、サービスを受取る際には、質よりも量を重視している。
- 物品を購入したり、サービスを受取る際には、量よりも質を重視している。

（物質面の生活と精神面の生活）

- 物品を購入したり、サービスを受取る際には、精神生活面での充実を重視している。
- 物品を購入したり、サービスを受取る際には、物質生活面での充実を重視している。

問31 お宅の家計の現在の借入れ状況（月賦の未払金を対象に含め、1～2か月後に決済するクレジットカード利用・ツケ買いによる未払金は除く）について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 借入れがある。 → 続けて問32、問33、問34にお答えください。
- 借入れがない。 → 続けて問34にお答えください。

問32 現在借入金があるお宅にお尋ねしますが、現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 公的住宅専門金融機関<注1>					
その他金融機関<注2>					
販売会社、クレジット会社等					
貸金業者（サラ金、質屋）					
勤務先					
親類、知人					
その他					

<注1> 住宅金融公庫、年金住宅福祉協会等。
<注2> 銀行、信金、信組、労金、農・漁協、郵便局、保険会社、住宅金融専門会社等。

また、現在の借入金残高のうち住宅ローン残高およびフリーローン残高をそれぞれ下表にご記入ください。

（注）フリーローンとは、借入金の用途が特定されていないローン（カードローンを含む）。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 住宅ローン残高					
フリーローン残高					

（上記の合計の金額と一致）

問33 現在の借入金があるお宅にお尋ねしますが、お宅では、どのような目的で借入れを行ないましたか。次のうちから3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。また、そのうちフリーローンによるものについては◎印をつけてください。

- 医療費や災害復旧資金にあてるため。
- こどもの教育資金にあてるため。
- こどもの結婚資金にあてるため。
- 住宅（土地を含む）の取得または増改築などの資金にあてるため。
- 日常生活資金にあてるため。
- 耐久消費財（自動車、家具、家電等）の購入資金にあてるため。
- 旅行、レジャーの資金にあてるため。
- 株式等金融資産への投資資金にあてるため。
- 土地・住宅（マイホームは除く）等の実物資産への投資資金にあてるため。
- 相続税対策の資金にあてるため。
- その他

問34 現在借入金があるお宅では、今後借入規模をどのようにしたいと考えていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 新たに借入れを行ない、借入金残高を増やす。
- 現在の借入金残高を維持する。
- 借入金の返済を進め、借入金残高を減らす。

次に、現在借入金がないお宅では、今後借入れを行なう予定がありますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 新たに借入れを行なう予定がある。
- 今後も借入れを行なう予定はない。

問35 お宅の家計のクレジットカードの利用状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- クレジットカードを利用している。 → 続けて問36、問37にお答えください。
- クレジットカードを利用していない。 → 問38にお進みください。

問35 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。お宅では、現在クレジットカードを何枚保有していますか。また、この1年間のクレジットカードの利用回数、利用金額はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

現在の保有枚数	百	十	一	枚		
1年間の利用回数	千	百	十	万	千	円
1年間の利用金額	千	百	十	万	円	

問37 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。お宅では、②クレジットカードをどの程度利用しているかについて、該当する番号に○印をつけてください。また、⑤それはどのような理由からですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 積極的に利用している。
 - 欲しいものがすぐに手に入るから。
 - 持ち歩く現金を少なくすることができるから。
 - 支払いを後にずらすことにより手持ち資金を有効に活用できるから。
 - 短期的な資金を借入れるのに便利だから。
 - その他
- 積極的に利用していない。
 - 衝動買いをしたくないから。
 - 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから。
 - カードの紛失等の危険があるから。
 - その他

問38 お宅の家計のプリペイドカード（テレホンカード、オレンジカード等）の利用状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- プリペイドカードを利用している。 → 続けて問39にお答えください。
- プリペイドカードを利用していない。 → 問40にお進みください。

問39 プリペイドカードを利用しているお宅にお尋ねします。お宅では、この1年間に購入したプリペイドカードの枚数および金額はどのくらいですか。また、そのうち実際に使用した金額はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

1年間の購入枚数	百	十	一	枚	
1年間の購入金額	十	万	万	千	円
1年間の使用金額	十	万	万	千	円

問40 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の資金決済手段としてどのようなものを利用していますか。次のうちから主なものを2つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 現金
- クレジットカード
- プリペイドカード
- 口座振替
- その他

問41 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の資金決済手段として全体の何割程度を現金で決済していますか。また、お宅の家計の月平均の手持ち現金（銀行券および硬貨）残高はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

現金決済の割合	割							
月平均手持ち現金残高	百	万	十	万	万	千	百	円

問42 お宅では、将来のことを考えて生活設計を立てていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 生活設計を立てている。 → 続けて問43にお答えください。
- 現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである。
- 現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない。 → 問44にお進みください。

問43 生活設計を立てているお宅にお尋ねしますが、お宅では、何年くらい先までを考えて生活設計を立てていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1～2年先まで
- 3～5年先まで
- 10年先まで
- 20年先まで
- 20年以上先まで

問44 お宅では、家計簿をおつけになっていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 つけている。
- 2 ときどきつけている。
- 3 つけていない。

続けて問45にお答えください。

問46にお進みください。

問45 家計簿をつけているお宅にお尋ねします。お宅では、②家計簿をどのようにおつけになっていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 合計額のみ記帳しているが、予算管理までは行っていない。
- 2 合計額のみ記帳しているほか、予算管理も行っている。
- 3 項目別に記帳しているが、予算管理までは行っていない。
- 4 項目別に記帳しているほか、予算管理も行っている。

また、④クレジット、月賦、自動振替等についてはどのように記帳していますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 家計簿に支払予定日や支払予定金額を記帳している。
- 2 家計簿に支払予定日や支払予定金額を記帳していない。
- 3 クレジット等は利用していない。

問46 お宅では、現在どのような住居にお住まいですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 ご自身が購入した家屋・マンション
- 2 相続または贈与を受けた持家
- 3 同居している親または親族の家
- 4 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 5 公団・公営の賃貸アパート
- 6 官舎、社宅
- 7 間借、その他

続けて問47、問48、問49にお答えください。

問47 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳以上
- 6 親からの相続等によるので、いつになるかわからない。
- 7 マイホームの取得については目下のところ考えていない。
- 8 将来にわたりマイホームを取得する考えはない。

問48 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、最近の土地・住宅価格や金利の上昇の中で、マイホームの取得についてどのように考えていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 当初のマイホーム購入予定額を越えた価格上昇分については、住宅ローンの借入額を増やしたり、生活費を切り詰めて対応する。
- 2 当初のマイホーム購入予定額は変えずに、計画比手狭な物件にする。
- 3 当初のマイホーム購入予定額は変えずに、割安な地域の物件にする。
- 4 マイホームの取得時期を繰り延べ、今後の土地・住宅価格や金利の動向をみて決める。
- 5 マイホームの取得を諦めた。

問49 近くマイホームを取得する予定があるお宅にお尋ねします。

お宅がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。それぞれについて下表に金額をご記入ください。なお、買い替えの場合は、新・旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

必要資金総額					
うち 自己資金					
借入金					

問50 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。お宅では、老後の生活設計についてどのようにお考えですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 心配していない。
- 2 それほど心配していない。
- 3 どうなるか心配である。
- 4 非常に心配である。

続けて問51にお答えください。

続けて問52にお答えください。

問51 問50で、「1 心配していない」、「2 それほど心配していない」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 十分な貯蓄があるから。
- 2 退職一時金があるから。
- 3 年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険があるから。
- 4 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。
- 5 再就職により収入が得られる見込みがあるから。
- 6 不動産収入（家屋、地代等）が見込めるから。
- 7 こどもなどからの援助が期待できるから。
- 8 その他

問52 問50で、「3 どうなるか心配である」、「4 非常に心配である」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 十分な貯蓄がないから。
- 2 退職一時金が十分ではないから。
- 3 年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険が十分ではないから。
- 4 生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。
- 5 再就職により収入が得られる見込みがないから。
- 6 家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。
- 7 こどもなどからの援助が期待できないから。
- 8 マイホームを取得できる見込みがないから。
- 9 その他

問53 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、現在の暮らしについてどのようにお考えですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 家計にゆとりがあり、心配なく暮らしている。
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。
- 3 家計にゆとりがなく、不安に思っている。
- 4 暮らしは非常に苦しい。

問54 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。現在のお宅の生活費は、どのような収入源に拠っていますか。次のうちから3つまで選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 就業による収入
- 2 公的年金
- 3 企業年金、個人年金
- 4 貯蓄の取崩し
- 5 利子・配当所得
- 6 不動産収入（家賃、地代等）
- 7 こどもなどからの援助
- 8 国や市町村などからの公的援助
- 9 その他

問55 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、老後に豊かに不安なく暮らしていくために必要なことは、どのようなことだと思いますか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 高齢者に対する雇用機会の確保
- 2 公的年金制度の拡充
- 3 物価（土地・住宅価格を含む）の安定
- 4 老人医療制度（老人病院、定期健康診断等）の拡充
- 5 公的・私的老人介護施設やサービス（老人ホーム、ホームヘルパー等）の拡充
- 6 体が不自由な人のための各種設備（車いす用通路、非常用通報システム等）の整備
- 7 老後に備えた貯蓄の優遇措置の実施
- 8 地域住民のふれあいや交流の場の確保
- 9 その他

問56 お宅では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。学齢区分ごとに下表に金額をご記入ください。

	万	千	百	十	円
小学生（1・2年）					
小学生（3・4年）					
小学生（5・6年）					
中学生					
高校生					

問57 貯蓄や生活に関する以下の4組の対照的な意見について、お宅では、どちらの考え方に近いと判断されますか。それぞれについて下表の該当する欄に○印をつけてください。

- ① 将来のことを考えて計画的に貯蓄し、生活していくべきだ。
② 将来のことをあれこれ心配するより、現在の生活を楽しく過ごすべきだ。
- ① 公的年金だけでは頼れないので、老後に備えて貯蓄を増やす必要がある。
② 公的年金があるので、老後に備えてとくに貯蓄を増やす必要はない。
- ① 借金（クレジットカードやサラ金の利用を含む）はいつかは返済しなければならないのだから、なるべく借りない方がよい。
② 借金（クレジットカードやサラ金の利用を含む）は便利なものだから、大いに活用してもよい。
- ① クレジットカードやプリペイドカードは現金より便利なので、今後は現金の利用を減らしていく。
② 現金は便利なので、今後も現金を中心に利用していく。

	①と同じ	①に近い	どちらとも言えない	②に近い	②と同じ
1の意見					
2の意見					
3の意見					
4の意見					

問58 お宅のご家族は自分も含めて何人ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 2人
- 2 3人
- 3 4人
- 4 5人
- 5 6人
- 6 7人以上

問59 お宅の世帯主の方は満年齢で何歳ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60～64歳
- 6 65～69歳
- 7 70歳以上

問60 お宅の世帯主の方のご職業は次のうちどれにあたりますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 農・林・漁業者
- 2 自営商・工・サービス業主
- 3 事務系職員
- 4 労務系職員
- 5 管理職
- 6 自由業
- 7 その他

問61 お宅のご家族の就業状況は次のうちどれにあたりますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 世帯主およびその家族ともに働いていない。
- 2 世帯主のみが働いている。
- 3 世帯主とその配偶者が働いている。
- 4 その他